

## 令和7年度（2025年度） 卒業生に関するアンケート（就職先アンケート） 結果

### <本調査について>

#### 1 目的

本学の卒業生の就職先からの評価を通じて、卒業生が資質・能力を修得しているかを把握し、調査結果を今後の教育改善等に活用する。

#### 2 対象者

卒業時に就職決定していた令和5年度（2023年度）全卒業生32名（事業所28）

※公立学校就職者、海外就職者は除く

#### 3 調査方法

郵送によるアンケート用紙の送付および返信用封筒またはFAXによる回答の回収

#### 4 調査期間

アンケート発送日：令和7年8月22日

回答期限：令和7年9月19日

#### 5 回答率

【全体】78.1%（調査対象者数：32 有効回答数：25）

【学科別】

児童教育学科：80.8%（調査対象者数：26 有効回答数：21）

情報メディア学科：66.7%（調査対象者数：6 有効回答数：4）

## 6 アンケート結果

### ※表における表記について

児童：児童教育学科      情報：情報メディア学科

設問1. 貴事業所の名称をご記入ください。

省略

設問2. 本学卒業生は、現在も貴事業所にて勤務していますか。該当する番号に○をつけてください。※転勤等の場合も、「1. はい」でお答えください。

### 有効回答数

	児童		情報		全学科	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
はい	15	71.4%	3	75.0%	18	72.0%
いいえ	6	28.6%	1	25.0%	7	28.0%

設問3. 本学卒業生は、採用時に以下の能力等をどの程度身に付けていたと思われますか。該当する番号に○をつけてください。

- 4 身に付けていた      3 ある程度身に付けていた  
2 あまり身に付けていなかった      1 身に付けていなかった

<4段階評価の平均値>      【有効回答数】全学科：25（児童：21 情報：4）

	児童	情報	全学科
1. 専門的知識・技能	2.48	2.50	2.48
2. 一般的知識・教養	2.33	3.50	2.52
3. 課題解決力	2.29	3.00	2.40
4. コミュニケーション力	2.57	3.50	2.72
5. 実践的応用力	2.14	2.75	2.24
6. IT活用能力	2.50	3.25	2.63
7. 自己研鑽力	2.33	2.75	2.40
8. 誠実性	2.57	3.50	2.72
9. 主体性	2.19	3.25	2.36
10. 協働性	2.48	3.25	2.60
11. 社会人としてのマナー	2.19	3.25	2.36
項目1~11の全平均	2.37	3.14	2.49

設問4. 本学卒業生の能力や職務に対する意識の水準について、どのように評価されますか。該当する番号に○をつけてください。

4. 高い 3. どちらかといえば高い 2. どちらかといえば低い 1. 低い

※実際のアンケート調査票における記載番号は逆順（1. 高い … 4. 低い）

【有効回答数】全学科：24（児童：20 情報：4）

		高い	どちらかとい えば高い	どちらかとい えば低い	低い	4段階評価の 平均値
児童	回答数	1	9	6	4	2.35
	割合	5.0%	45.0%	30.0%	20.0%	
情報	回答数	2	2	0	0	3.50
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
全学科	回答数	3	11	6	4	2.54
	割合	12.5%	45.8%	25.0%	16.7%	

設問5. 本学の卒業生は、貴社の人材ニーズや期待に応じていると思われませんか。

該当する番号に○をつけてください。

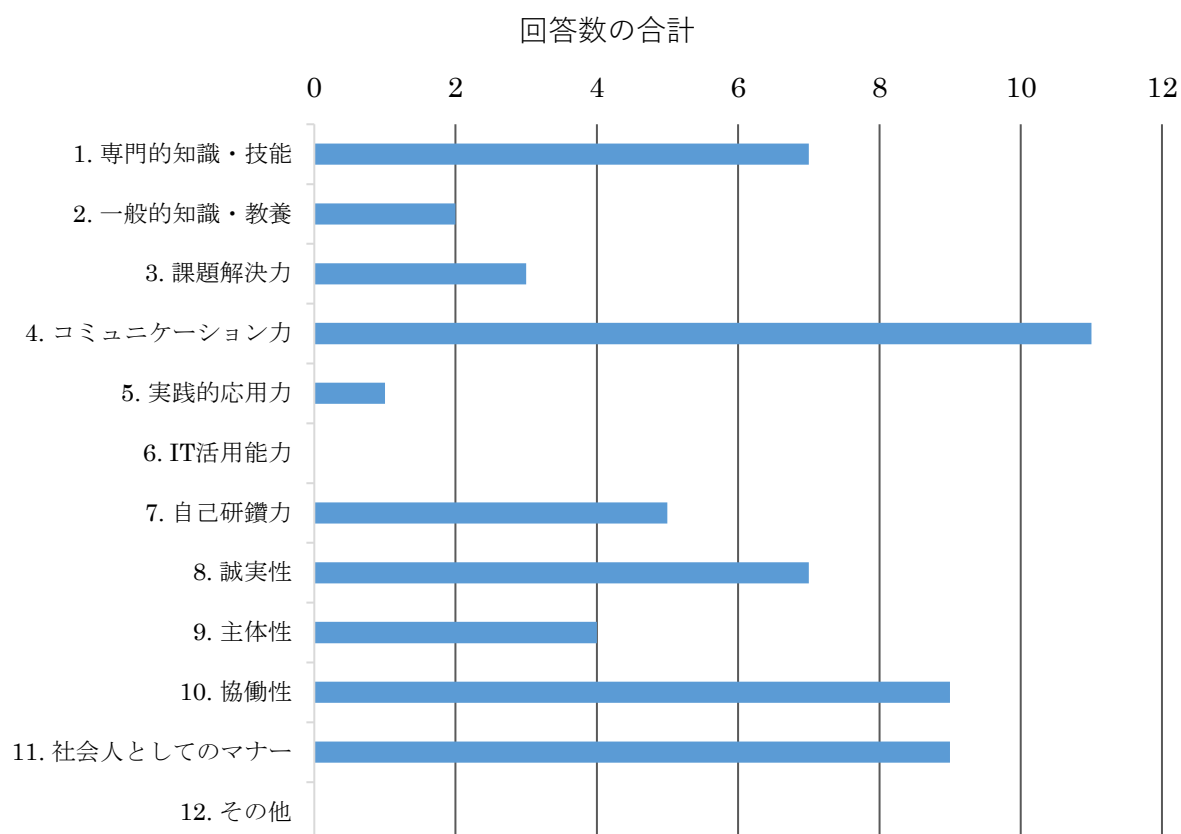
4. 応えている 3. どちらかといえば応えている 2. あまり応えていない  
1. 応えていない

※実際のアンケート調査票における記載番号は逆順（1. 応えている … 4. 応えていない）

【有効回答数】全学科：17（児童：16 情報：1）

		応えている	どちらかとい えば応え ている	あまり応え ていない	応えていない	4段階評価 の平均値
児童	回答数	6	6	5	3	2.75
	割合	30.0%	30.0%	25.0%	15.0%	
情報	回答数	2	2	0	0	3.50
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
全学科	回答数	8	8	5	3	2.88
	割合	33.3%	33.3%	20.8%	12.5%	

設問6. 以下の能力等について、貴事業所において業務を遂行していく上で特に重要と思われるものを3つ選び、番号に○をつけてください。



<回答数の内訳>

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
児童	6	2	1	16	0	0	1	6	4	11	12	0
情報	1	0	2	3	0	0	0	2	0	0	0	0
全学科	7	2	3	19	0	0	1	8	4	11	12	0

設問7. 本学学生が学生時代に身に付けておくべき能力等について、ご意見等がございましたら、お聞かせください。

○身に付けておくべき能力等についての記述内容

<幼稚園>

- ・ ①礼儀 ②素直な心 ③笑顔・体力 ④コミュニケーション力（まず人の話を聞いて、分からなければ質問する） ⑤大学の講義で受けたこと（特に専門的なこと） ⑥Piano が苦手ならそれに代わるもの
- ・ 学生の間に見聞きし、経験し、学べることはしっかり吸収した上で、就職した後、新しい気持ちで学び続ける姿勢を持ってほしいと思っています。

- ・ 分からないことがあれば遠慮せず、先輩や同僚に素直に質問する姿勢を持つこと、また「これやってみたい」「もっと仕事に関わりたい」という意欲を自分から積極的に伝えることの重要性を指導していただけますようお願いいたします。

#### <保育所>

- ・ 今の若い人達は、社会人としての基本的な接遇マナーや心得が少し欠けていたり、知らないといった人が多いように感じます。これらは全ての基本であり、子どもや保護者地域との信頼関係を築く基礎、大切な部分になるので、ある程度のものは身につけて社会に出る事が出来ていればと思います。
- ・ 「子どもが好き」「子どもに関わる仕事がしたい」という気持ちがあり、それに向かって専門知識技能を学んで頂きたいです。計画・月案・経過記録など書く事やPC作業等あるので、それらの処理能力（丁寧さや提出期限を守る事）ができる方が良いです。社会人のマナーとしてあいさつは基本ですが、保護者や職員間でのコミュニケーションが必須なので、その辺りの能力も必要だと思います。
- ・ 実習を経験し、学生さんの中には自分に向いているかどうか気づかれる方もいらっしゃると思います。現場では少しでも「保育って楽しい是非やってみたい」と思ってもらえる様な対応を実習生に感じて頂きたいと努力しております。学生時代にある程度、社会人としてのマナーや日誌書類等の提出をきちんとする等、指導して頂くと就職後もスムーズに保育士として頑張ってもらえると思います。よろしく願いいたします。
- ・ ①発達段階をふまえた子どもの理解、多様な遊び（歌・手遊び・制作など）の経験（→引き出しをもっておく） ②子どもの小さな変化を見逃さない検察力（→気持ちをくみとる） ③保護者や同僚と信頼関係を築き、協力しながら保育を進める力  
学生のうちから少しでも意識してもらえると子どもたちにとってよりよい保育環境作りにつながる。
- ・ 実習などでの実践的スキルが現場にでてとても役に立ちます。絵本の読み聞かせや手遊びなど大切。あとは、自分の良さ、得意なことを知っておくと強みになります。頑張ってください！
- ・ 指導を受けたときに素直に学ぼうとする姿勢を身に付けて欲しい。たとえば、先輩保育士に助言を受けた時に、「はい」と言えるようになってほしい。
- ・ 何事にも嘘をつかず、誰に対しても誠意をもって行動する。
- ・ 自分の失敗を素直に受け止め、「ありがとう」「ごめんなさい」がきちんとと言える力